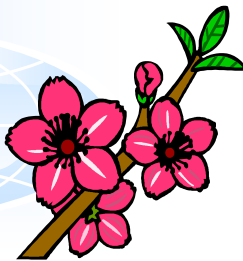


学校だより

麦の穂



令和4年度2月号 2/24 発行
富士宮市立富士根南小学校
全校児童 1,025人(+2人)
電話番号 26-2522
ホームページアドレス



学校教育目標

夢をもって、自ら考え 共に学ぶ子

学校経営目標

判断力を高め、笑顔・思いやりあふれる学校づくり

<http://www.fujinomiya-shizuoka.ed.jp/e-school/08fujineminami/>

HP カウンターは15か月で20万件を超えています(2/23現在約207,700件)。毎日約450人ほどが見てくれています。

新型コロナウイルス感染症が5月に2類から5類(季節性インフルエンザ相当)に変更されることやマスクの着用も3月からは個人の判断に委ねられるという報道がなされ、感染拡大はあたかも収束にしたような印象を受けますが、実情まだまだ私たちの身近に新型コロナウイルス感染症は存在しています。一般的な経口薬の開発もおくれ、まだまだ予断を許さない状況であることは確かです。

1,000人を超える子供たちが在籍する本校では、静岡県が発表する警戒レベルを参考に富士宮市教育委員会と学校医との指導を受けながら、最大限の感染対策(健康観察アプリ「リーバー」による健康観察、学校での検温、換気、3密を避けるなど)を実施しながら子供の学びの保障に取り組んで参ります。これまで、学校内での感染拡大が起きなかったことは、保護者の皆様の御理解と御協力の賜であると感謝申し上げます。引き続きよろしくお願い申し上げます。

■ リスペクト・アザースな生き方・・・

校長 川口 秀也

今年度も3月を残すのみとなりました。コロナ禍、感染対策にも大規模校が故の多くの制約がある中、子供たちと教職員は、様々に創意工夫をしながら、学校ならではの学びのよさが具現化される教育活動に懸命に取り組んでまいりました。

特に「ICT機器を活用した授業に生きる家庭学習の充実に係る研究」や「自ら課題を見出し、仲間と協働して解決するステージ制」の取組等は、自律した学習者と親和的な自治的集団の育成に成果を上げ、一定の評価を得ることができました。引き続き、複雑で変化の激しい社会の中で、自分らしく生き抜く力(根南小11の資質・能力)の確かな獲得を目指して、子供たちと共に精進して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今月5年生は、富士人権擁護委員会の皆様を講師にお迎えし、「人権教室」を実施しました。テーマは「リスペクト アザース(他の人のことを尊重しよう)」です。これは、全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞を受賞した、海外生活の経験のある中学生が書いた作文のタイトルです。5年生はこの作文をもとに製作された※動画を視聴した後、リスペクト・アザースについて議論しました。動画の中で主人公は、次の様に語ります。



集団生活が始まると、誰かが意地悪をしたとか、誰かがいじめられたとか、いわゆる人間関係のトラブルが起こってくる。そんなとき、先生たちは必ず「リスペクト アザース」と言い、当事者に反省を促した。「リスペクト」の意味もはっきり分からない幼稚園のころから、事あるごとに繰り返したき込まれた。日本語にすると、「他の人のことを尊重しよう」というような意味なのだが、今思うと、「意地悪をしないで、みんな仲良くしなさい」とか「いじめはだめ」という、そのときの行動を注意するのではなく、その行動を起こしてしまった根本の考え方を問題にしている。

本校では、「判断力を高め笑顔・思いやりあふれる学校づくり」に子供と共に取り組んでいますが、正にこの「リスペクト・アザース」は、これに重なる行動の指針となるものです。子供たちは日々、多くの仲間との関わりの中で生活しています。そして誰もが安心して、豊かに、自分らしく生きる権利を持っています。その権利は誰にも犯されることはありません。ですが、その権利は、時としてぶつかり合います。そんな時にも互いに反目し合ったり、多数が少数を排除したり、攻撃したりするのではなく、互いに相手のことを理解し、尊重し合うことが大切であることを全校で共有して参ります。

※ 動画は、こちらから視聴できます。 <http://www.youtube.com/watch?v=C8Tc9BRtRJg>